

## 令和元年度第2回淡路市子ども・子育て会議（第18回）会議録

開催日：令和元年9月30日（月）13：30～15：20

開催場所：市役所2号館3階大会議室4・5

出席委員：16名 欠席委員：4名

傍聴人：なし

開会あいさつ 伊木会長 より

### 協議事項 淡路市子ども・子育て支援事業計画骨子について

#### ①「量の見込み」と「確保方策」について

説明：「淡路市子ども・子育て支援事業計画 第2期 骨子案」

<委員からの意見>

委員 9ページの妊婦健康診査事業の量の見込みについて、0歳児の推計人数と異なるが、どういった数値か。また、12ページの一時預かりについて、令和6年度に実施箇所数が増える事に伴い量の見込みも増えているが、これはそれだけニーズがあるという事なのか。

委員 妊婦健診の見込みについては、30年度の出生数が219人に対して妊婦健診の実績が232人であるように、妊婦の時は転出入が結構あるので、数が読みにくい。出生数より多くなるので一旦250人で多めに見込んでいる。

事務局 一時預かりについては、ニーズ調査からニーズがあったので増えている。

委員 7ページの3号認定で、認可外保育施設はどの施設か。

事務局 東浦の「島と暮らす保育園」が該当する。

委員 民間病院で看護師の子どもを預かる保育事業について、定員などを把握されているか。

事務局 県への届け出になるので、県から情報を得て定員を確認する事はできる。

委員 ○○病院の保育が17時半までとなっているが、実際には16時で終わるため1時間半の一時預かりの相談がある。

事務局 事業所の従業員向けのサービスでされている事なので、16時で終わってしまうのは、何か事情があるかとは思いますが分からない。

会長 1ページに、この計画の位置付けが書かれているが、淡路市のその他の福祉に関する計画の内容はこの計画には含まないのか。

事務局 位置付けとしては、この図にあるように他の計画と並ぶものになる。

会長 この骨子を基に、現行計画のような冊子として内容を充実していくものと思うが、8ページの利用者支援事業について、現行計画にあるように、図などを入れてアピールしてほしい。保健師や助産師などの専門職が入って基本型と母子保健型を両方行っているという強みを書いてはどうか。

委員 利用者支援事業の三角形の図なども使えば良いと思う。  
また、基本型のまあるくで土日に交流会、情報交換会を行っている事なども入れてほしい。

- 委員 交流会については、必要性を感じて6月から第3日曜日に11時から15時まで子育てカフェという形で独自で行っている。
- 会長 そのような具体的などころをもっと書いてほしい。
- 委員 ここでは量について書かれているが、内容の充実はどうするのか。自由記述の中に、土日開けてほしい、学童保育の18時以降のニーズもあると思う。
- 事務局 土曜日の午後や日曜日の保育に関する意見は多いが、14箇所すべてで開けるのは難しい。ニーズがある以上、淡路市として今後模索していかないといけないと考えている。何園どこで実施するかなど研究していく必要がある。
- 会長 ファミリーサポートセンターについて、利用実績1人で、潜在的な利用希望があるとだけ記載されているが、具体的に書く事はできるか。
- 事務局 アンケートの自由記述などを基に、確保方策の根拠として書く事はできる。
- 委員 計画書では、アンケート結果のところにも自由記述についても含めてほしい。
- 会長 この骨子案について口頭で説明されたような内容も記載すれば良いと思う。
- 委員 この計画をどのような見せ方で構成するのが良いのかまだ分からないところもあるが、この場で話し合った事がどう実現したのか、など分かりにくいと思う。
- 事務局 国の定めた事業計画を書いたものになるが、そのほか、市の独自施策としてどのような事をしていくのかを検討したいと考えている。
- 委員 学童保育について、他地域では保護者会の活動もあり、組織として見守り活動や催しなどもやっているようだが、淡路市はそのような繋がりが無いと思う。保護者会を組織化するという考えはあるのか。
- 事務局 淡路市の学童保育は、保護者が就労しているなどの家庭の子どもを対象とした放課後の一時預かりの位置付けとなっている。保護者会の組織は無い。
- 委員 学童保育は子どもが育つ場という質の面でも、充実のため考えてほしいと思う。
- 事務局 国の制度としての事業と市の施策とを連携して行っていきたいと考えている。また、保護者が繋がりを持つという事も重要だと思う。
- 事務局 この計画自体が、「子ども・子育て支援法」と「次世代育成支援対策推進法」とを根拠法とした2本柱の構造になっている。4ページの計画の基本的考え方に図示したように、この計画の理念のもと、国の「子ども・子育て支援事業の推進」と市独自の「その他子ども・子育て支援施策の展開」を相互に関連づけながら、理念を実現させるために行っていく事が分かるよう構成したいと考えている。この会議で得た意見は、市の施策のところでも反映していく。
- 委員 10ページの乳児家庭全戸訪問事業について、量の見込みは淡路市内の推計出生数となっているが、実際は里帰り出産の赤ちゃんも訪問しているので、実績との数字に乖離がある。その旨補足を追記してほしい。
- 委員 市の計画として、根拠データが無いと説明しづらい事もある。ニーズを踏まえて作ったこの計画が、施策を実行するときのエビデンスになれば良いと思う。

## ②支援施策の展開について

### <委員からの意見>

- 委員 計画のスローガンに「まち」という言葉を使っているが、「淡路市」という名称を使えばもっと身近に感じてもらえるのではないかな。
- 事務局 前向きに検討したい。
- 委員 「子どもを守る 110 番の家」について、増やすようお願いしたいが担当が分からない。
- 事務局 市の危機管理課が窓口になる。安全に関する事で他の部署とも連携している。
- 会長 施策についてこのような横の繋がりも大事だと思う。
- 委員 窓口で相談いただければ、いろいろな手続きなどにも繋げてもらえると思う。
- 会長 相談などのワンストップを出していければ良いと思う。子育てに関する困り事など、どこに相談したら良いか迷う事もあるが、相談が繋がるといったところに、地域ぐるみの子育ての方向性があれば良いのではないかな。
- 委員 「2. 安心して子どもを産み育てるための支援」とあるが、聖隷淡路病院の産科が無くなる事で不安がある。なるべく早く再開してほしい。
- 事務局 全国的に産科医が不足している事もあり、状況は見えないが、市としても努力したい。
- 委員 子育て学習センターについては、リピート率も高く、今後も充実していきたい。特に6ヶ月以下の集まる場は大事だと思う。保護者の特技なども活かしながら、後に続くお母さんの支援もできるようなグループやサークル作りなども取り組みたい。
- 委員 保育所は、この施策体系のどこにも関わるので、保育士なども支援の理念を共有するよう心掛けています。分からない事があって困っている人を、支援の窓口につなげる事も重要と考えており、個別対応として支援に繋がった事もある。
- 委員 この計画の概要として、市の支援や相談先を示したものが全戸配布されるのか。
- 事務局 子育てハンドブックで対応したいと考えている。
- 会長 市の広報で子育て施策をアピールできるのではないかな。
- 委員 子育てハンドブックをもっと置いて活用してもらえば良いと思う。  
公民館活動なども含め、子どもの安全に対して地域の人の力は大事なので、情報交換の場が活用されてほしい。
- 委員 津名は公民館活動が活発で、各種団体が集まっている。地区によって違うかもしれない。
- 委員 施策の展開の中で、企業としては、仕事と家庭との両立にワークライフバランスを重視しており、働き方改革で在宅勤務なども導入している。子育て世代のニーズを情報発信してもらえれば、改善のきっかけにもなる。
- 委員 この会議では意見を言う事もできるが、PTAの会合などでは、情報をただ聞

くだけで、もったいないと感じる。問題意識を持ってもらうにはワークショップなどで意見を発する場を持つ事が必要で、そうすることで積極的に参加できると思う。

委員 保育所の職員にアンケートを取るなどして、保育所の実態に目を向けた方が、実態に即してしっかりすると思う。保育士も意見を言えていないのではないか。外部からは保育所の中は見えない。

事務局 保育士へのアンケートは行っていないが、面談で意見聴取を行っている。ただ、言いにくい事もあると思う。園の雰囲気など、意見を言える環境が重要と思う。

委員 児童虐待の防止については、早期発見が重要で関係機関が連携している。相談の窓口として、どこでも話をすれば繋がると思う。総合支援拠点として充実していきたい。

委員 1期と2期の変更点を確認できるようにしてほしい。

事務局 1期計画の振り返りと課題などを掲載し、変更箇所が分かるよう構成する。

委員 どのような意図で施策が変わってきたのか、PDCA が分かる事が大事だと思う。

委員 子育てハンドブックに内科と小児科が掲載されていないのが残念。できるだけ載せてほしい。

事務局 医師会にお願いして掲載できるようにしたい。

## その他

- ・次回の子ども・子育て会議は12月頃の予定。

開会あいさつ 三浦副会長 より

以 上